

【公開用】会議録

嘉手納町教育委員会

1. 会議の種類：令和3年度 第3回定例教育委員会会議
2. 期 日：令和3年5月27日（木） 午前10時00分～午前11時15分
3. 会 議 場：庁議室

4. 会議に出欠した教育委員

職 名	氏 名	出席	欠席	備 考
教 育 長	比 嘉 秀 勝	○		
教育長職務代理者	奥 間 千 津 子	○		
教 育 委 員	平 得 永 幸	○		
教 育 委 員	喜 世 川 直 子	○		

5. 職務上会議に出席した職員

教育総務課長 金城 睦和  
教育指導課長 池 味 勇  
社会教育課長 仲宗根 さゆり  
中央公民館長 幸地 淳次  
指導主事 伊 波 努  
教育総務係長 奥 間 篤 樹  
教育総務係主任主事 幸地 ちひろ

傍聴人 入室（公開）

教 育 長 ： 皆様おはようございます。ただいまから令和3年度第3回定例教育委員会会議を開会します。初めに、規則第6条に基づき非公開事項についてお諮りします。

本日の協議題等について、報告第10号及びその他①については、会議規則第6条第1項第2号及び同項第5号に規定する非公開事項に該当します。従って、当該議案の審議については、すべて非公開としたいと思いますが御異議ございませんか。

全 委 員 ： 異議なし。

教 育 長 ： 異議なしと認めます。それでは本日の審議はすべて非公開とします。続いて、会議規則第15条に基づき本日の会議の進行についてお諮りします。

本日の会議は、すべて非公開とされましたので、始めに教育長諸般の報告、その後に非公開の議案、報告第10号及びその他①の審議の順に進めたいと思いますがよろしいでしょうか。

全 委 員 : 異議なし。

教 育 長 : 異議なしと認めます。会議の進行について決定しましたので、これから会議をはじめます。

## 6. 教育長諸般の報告

教 育 長 : 教育長諸般の報告に入ります。まず、4月26日嘉手納町の歴史と文化の町民編の発刊について。嘉手納町の歴史と文化について家庭でも語り合っていたいただき、嘉手納町の良さや特色を知るための大きな資料として、着々と準備を進めているところです。各家庭に1冊配布するという壮大な計画のもとに、町史文化財係の方で、財政との調整等具体的に進めている状況です。

次に、5月13日制服選択制に関わる研修会等について。こちらについては今日も御意見等を頂きたいと思います。

次に、5月18日に嘉手納高校の校長がお見えになりました。

地域に開かれた教育課程・地域連携を模索するという計画があつて、これからは小中学校と連携をとりたいということでした。高等学校の生徒が、各学校でふるさとについて調査研究したものを伝えるというような連携をもちたいとのことでした。地域における連携は非常に重要です。嘉手納町もコミュニティスクールを導入予定ですので、是非お互いで進めていきたいと思います。ということで懇談をいたしました。

あと、2年ぶりに全国学力・学習状況調査が本日実施されます。本町も、各学校現場では補習等々を行いながら、この日に向けて頑張ってきているようですので、良い結果に繋げなければいけないと考えています。校長の話によると、補習等を行おうとしたら点取り虫を育てるのですかという言葉があつたそうです。点数は定着しているかどうかを計るメジャーですので、自分達が教えたことが定着しているかを計るのは点数で可視化する以外にはありません。そういうものにアレルギーを発する教員がいるということは非常に残念です。沖縄県は多様な面で他府県から差を広げられていて、同じ土俵では勝てません。東京に行っても、また貧しい沖縄県に戻ってこないといけません。沖縄県でしか生きていけないというようでは子供たちの将来も、沖縄県の将来もありません。日々のテストに関しては、定着を計るメジャーだということで、教員に

も理解していただかなくてはなりません。あと、全国学力・学習状況調査なるものが何であるかということに、地域の方々や保護者も関心を持たなければならないと思います。関心を持って、学校に良い意味でのプレッシャーを与えなければいけない。小学校は全国でも10位以内に入っているのです。沖縄県の子供達も能力は遜色ないということです。教員の教え方に大きな差があるのだというふうに思いました。何とか頑張っ  
て欲しいものです。

私からは以上になります。委員の皆様お願いいたします。

教育長職務代理者 : 今朝の新聞に、竹下道場の子供達が県大会において混合優勝したという記事がありました。女の子も、個人で竹下さんという子が優勝したようで嬉しいニュースだと感じました。

それから、今日の新聞に県議会議員からの質問が掲載されていました。出席停止になった子供達が、小学校150名、中学校170名、高等学校180名、支援学校25名というようにとても多いことが分かりました。本町にもそういった事で休んだ子がいるのか気になります。もし、資料があれば後で教えてください。よろしく申し上げます。

それから、先日頂いた嘉手納小学校と幼稚園の教育計画の中で、幼稚園は社会に開かれた教育課程・地域に開く教育課程を編成したが、コロナ禍ということで、ほとんど実施できなかったということがありました。地域連携、幼保連携、年齢交流等ができなかったということで、評価が1でした。他にも1が3つほどありました。私達が3年保育を始めたのも、異年齢交流で育つ良さが大きいからです。連携や交流を縮小するというのは難しいものがあると思います。実施できなかった事に変わる何かがないかと知恵を出し合う必要があると感じました。小学校においては、学校課題を的確に把握している様子が見ることができました。子供たちの基礎学力ですが、モジュール学習に15分ずつ組んでいました。

こういう事で、計算力や漢字力が培っていくのだなと感じました。それから、子供達の自己肯定感に関しては、ボイスシャワーをかけようということで私達も確認をしておりますので、地域の皆様にも子供達の良さを見つけながら啓蒙していただく必要があるのではないかと感じました。それから、教育実践力に非常に大きな差があるというように感じました。よく新聞や本にも教師が大量に退職をしましたとありますが、沖縄県中頭地区の学校でもそうなのかと思いました。その中で、教師力を付けていきながら、組織力も養っていくことが重要だということを強く感じます。学校長は、子供達や教職員の安心・安全な生活をどう守るかということや、学びの保証をどうするかなど悩みは多いと思います。そういった中で、私も教育委員の1人として、教育環境についてどのよう

な支援ができるのかということを改めて考える必要があると強く思いました。以上です。

教 育 長 : ありがとうございます。喜世川委員お願いします。

喜世川委員 : 5月22日の沖縄タイムスの新聞記事に比謝川浄化 EM 団子放流という記事がありました。蘇る自然プロジェクトということで、4月29日の昭和の日に比謝川浄化大作戦で作った EM 団子の放流セレモニーが開催されたということです。嘉手納町からは、屋良小学校と嘉手納高校の生徒、読谷村からは喜名小学校の生徒と横田及び渡具知自治会関係者の合計約80名が流域の自然回復を促して川の水が綺麗になって欲しいと願いを込めて、EM 団子約800個を投げたということです。嘉手納町立小中学校・嘉手納高校・読谷高校の校歌を調べてみたら、全校の校歌に比謝川の文字が入っていました。そのぐらい比謝川というのは私達にとって身近な存在なのに、私はこんな活動があることを知りませんでした。嘉手納小学校の参加がなかったので、これを機会に比謝川環境を整える活動を学校現場の児童生徒にも知って欲しいと思いました。主催者の方も、子供から大人まで世代を超えて考える機会になって欲しいと話していました。汚れた川を浄化するには時間と労力が必要だと思いますが、身近にこういう川があるので、この川を大切にしていこうことを1人でも多くの人に呼びかけて、このような活動を継続していくことが重要だと思いました。活動に参加した子供達が、嘉手納町の良さに気付くきっかけにもなるのかと思います。

あと、両小学校の登校の様子なのですが、屋良小学校は大半の子供達が徒歩登校でした。低学年の子供達も保護者2人ぐらいで集団登校をさせていました。嘉手納小学校は自家用車での登校が多いので、対策が必要だと思いました。

教 育 長 : ありがとうございます。平得委員お願いします。

平得委員 : コロナ禍で学校行事もなくなり、学校の様子がわからない状況ではありますが、両小学校が4月30日に遠足を実施したということでした。5年生か6年生が、両小学校とも嘉手納ドームでの遠足だったということで、楽しく交流が出来て良かったという報告を受けました。学校行事も思うようにできない中で、こういうふうに交流をすることができたのは良かったと思います。

あと、喜世川委員からもあったように、嘉手納小学校は送迎の車が非常に多いです。PTAと学校側との話の中でも、子供たちの安全を確保するにはどうしたら良いかということで、保護者に交通安全の立哨をお願いしたいという話がありました。ただ、今はPTAとしても集まって何かをするというのは難しかったので、保護者の皆さんに伝えることも出

来ない状況でした。そこで、学校の中でも活動が盛んな部活動の保護者に先に協力依頼をすることで、5月は各部活の保護者に朝の交通安全立哨運動をしていただいています。こういうことをすることによって学校も盛り上がり、子供達も安心して登校が出来る状況になると思います。6月からは、例年通り学年毎の保護者に立哨運動を行っていただくということで取り組んでいます。嘉手納小学校も盛り上がっているのではないかなと感じています。

毎週金曜日には、青少年センターの指導員として中学校の立志門前で挨拶運動をしているのですが、嘉手納小学校の3年生ぐらいの児童が、先生と一緒にごみ拾いをしながら歩いているのを見て嬉しく思いました。屋良小学校では、先生と生徒がごみ拾いをしている様子が見受けられたのですが、嘉手納小学校では見受けられなかったのが、嘉手納小学校も地域の活動が少しずつ増えているのかなという印象を受けました。

あと、5月24日のタイムスの記事に、嘉手納中学校3年生の津波古梨心さんがパリオリンピック強化指定選手に選ばれたという記事がありました。ぜひ頑張って代表選手になって欲しいと思いました。

緊急事態宣言が出たので、また少し活動が制限されてはいますが、子供達が活動出来る場所を確保するように、PTAとも連携しながら活動していきたいと思います。

教 育 長 : ありがとうございます。

津波古梨心さんは町長表敬に見えていました。強化選手なので、強化練習にも行かないといけないと思います。そういうものにこそ、補助や支援ができるように体制を組まなければならないと町長がおっしゃっていました。そういうことをフォローできるような、体制作りやルール改正を行っていかなければならないと思います。オリンピック選手になれば、嘉手納町の大きな財産になります。役場が行うのはそういうことへのフォローです。現在のルールに当てはめて出来ませんと言うのでは町民は救えません。何をどうしたら支援できるのか、この子を活かせるのかということで考えなければいけません。これまでに嘉手納町からオリンピック選手が育ったことはないのですが、ぜひ津波古梨心さんにはオリンピック選手になっていただきたいと思います。嘉手納町からオリンピックという舞台に出る子が育つということは誇りであるという気持ちを持ちましょう。

それから、朝の登校の車は嘉手納小学校だけではなく屋良小学校も同様です。屋良小学校は元の正門から右側のルートに行くので正門付近までは来ませんが、嘉手納小学校は正門の近くまで入ってくるので問題です。諦めたら終わりですので、今後もPTAや学校運営協議会等々で議

題として協議していくことが大事だと思います。  
これで諸般の報告を閉じます。

傍聴人退室（非公開）

## 7. 報告事項

### ① 報告第10号

嘉手納町立学校評議員及び学校関係者評価委員の委嘱について

〈 非公開審議 〉

教 育 長 : 他にございますか。よろしいでしょうか。  
全 委 員 : 異議なし。  
教 育 長 : 承認いたします。

## 8. その他事項

### ① 同一性障害等に関する対応について

〈 非公開審議 〉

教 育 長 : ありがとうございます。大変お疲れ様でした。  
これをもちまして、第3回定例教育委員会会議を閉会いたします。

## 9. 会議録の署名人

教 育 長 比嘉季勝 

教育長職務代理者 奥間千津子 